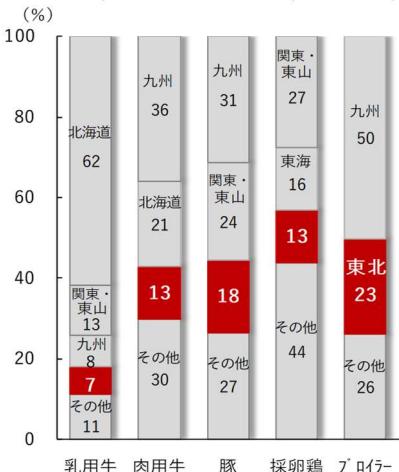


テーマは「畜産業」

家畜の飼養頭羽数と東北のシェア

図1 農業地域別にみた家畜（飼養頭羽数）の全国シェア（令和4年）



注1：採卵鶏の飼養頭数は、成鶏めす（6か月齢以上）の値を用いた（以下同じ。）。

2：表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の計が100にならない場合がある（以下構成グラフにおいて同じ。）。

3：東北及び東北より上位の農業地域を表章し、それ以外の農業地域を「その他」とした。

表1 家畜の飼養戸数・飼養頭羽数（令和4年）

	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	プロイラー
飼養戸数	13,300 戸	40,400 戸	3,590 戸	1,810 戸	2,100 戸
飼養頭羽数	1,371,000 頭	2,614,000 頭	8,949,000 頭	13,729 万羽	13,923 万羽
東北	97,400	334,100	1,604,000	1,815	3,267

注：採卵鶏の飼養戸数は、種鶏のみの飼養者を除く。

令和4年（2月1日現在）における各家畜（飼養頭羽数）の全国シェア1位の農業地域は、乳用牛では約6割を占める北海道、肉用牛と豚は3割超の九州、採卵鶏は約3割の関東・東山、プロイラーは5割の九州となっています。

東北は、乳用牛が全国シェア7%ですが、それ以外の家畜はいずれも二桁台の全国シェアがあり、特にプロイラーは23%と、九州に次いで全国第2位となっています（図1）。



Vol.11 [令和4年11月]

「まふナビ東北」では、農林水産省が実施している統計調査結果から、「東北地域」にクローズアップした情報をお届けします。

[発行]

農林水産省 東北農政局統計部

農林水産省では、家畜（乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏及びプロイラー）に関する飼養戸数・飼養頭羽数等を把握するため、「畜産統計調査」を毎年2月1日現在で実施（農林業センサス実施年は休止）しています。



東北における県別シェアと全国的にみた飼養状況

【プロイラー】飼養羽数が全国第3位の岩手県

飼養羽数（東北）の県別シェアをみると、岩手県が65%、青森県が25%と大きく、この2県で9割を占めています（図2）。

全国的にみると、東北1位の岩手県の飼養羽数（2,110万羽）は、鹿児島県、宮崎県に次ぐ第3位に位置しています（図3）。

※プロイラーとは、「食用」目的で飼養し、ふ化後3か月未満で肉用として出荷する鶏をいいます。

【豚】飼養頭数が全国上位の岩手県、青森県。

経営規模が大きいことも特徴

飼養頭数（東北）の県別シェアをみると、岩手県が31%、青森県が22%と、この2県で約5割を占めており、その他の東北の県においても、10%前後のシェアがあります（図4）。

全国的にみると、飼養頭数では岩手県が第6位（49万1,900頭）、青森県が第8位（35万8,600頭）ですが、1戸当たり飼養頭数は青森県が全国第2位（5,976.7頭）、岩手県が第4位（5,719.8頭）となっており、経営規模が大きいことも特徴です（図5）。

図2 東北各県のシェア（令和4年、飼養羽数）

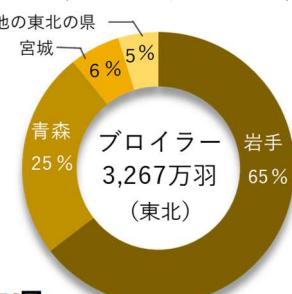


図4 東北各県のシェア（令和4年、飼養頭数）

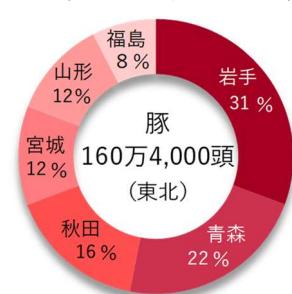
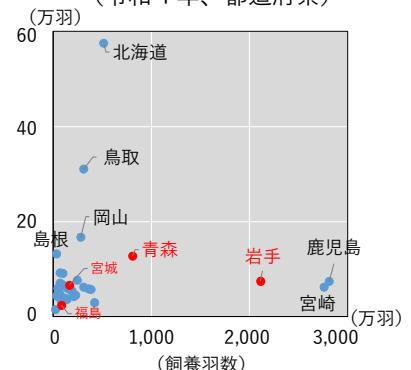


図3 プロイラーの飼養状況（令和4年、都道府県）



注：表示している都道府県名は縦・横軸の1～5位及び東北の県（以下飼養状況グラフにおいて同じ。）。

図5 豚の飼養状況（令和4年、都道府県）

